

海洋プラスチックごみの発生要因調査業務 評価項目別総合値

評価項目	復建調査設計 株式会社 広島支社	エヌエス環境 株式会社 広島営業所	三洋テクノマリン 株式会社 広島営業所	八千代エンジ ニヤリング 株式会社 広島支店	株式会社パスコ 広島支店	内外地図 株式会社
1 業務実施方法(仕様書への適応)						
(1)プラスチックごみ流出実態調査						
① 実態調査河川等の選定に当たっては、流域等の地域特性や土地利用形態を考慮の上、その性質に偏りがないように複数箇所選定される内容となっているか。【必須】	38	20	30	28	20	38
② ごみの散乱状況、それらごみの漏洩元と考えられる発生源の設置場所を把握する内容になっているか。【必須】	36	18	28	28	18	34
③ 実態調査計画は、調査結果を解析するのに十分な回数を行うこととなっているか。【必須】	34	22	30	36	20	32
④ 実態調査の手法は多様な調査手法の組合せや創意工夫がなされ、かつ、有効であると認められるか。	36	18	32	36	22	36
⑤ 実態調査に当たっては、河川等へのごみの漏洩元を特定し、ごみの量及び組成を把握する内容になっているか。【必須】	34	18	28	32	18	32
(2)プラスチックごみ漏洩要因の解析						
① 河川等の散乱ごみと発生源の相関性を論理的に検証する手法がとられているか。【必須】	36	18	22	30	16	34
② 実態調査から得られた、ごみの散乱状況及びごみ漏洩の原因等が統計的に整理される内容になっているか。	34	16	22	30	16	30

評価項目		復建調査設計 株式会社 広島支社	エヌエス環境 株式会社 広島営業所	三洋テクノマリン 株式会社 広島営業所	八千代エンジ ニヤリング 株式会社 広島支店	株式会社パスコ 広島支店	内外地図 株式会社
(3)効果的なプラスチックごみ流出防止対策手法の提案							
	①解析結果から導かれた課題への対策が検討される内容 になっているか。 【必須】	36	16	22	26	16	34
	②ごみ漏洩を引き起こす原因となる行動パターンそれぞれ に応じた対策が検討される内容になっているか。	38	16	26	24	18	32
2 業務の実施体制・遂行性							
	①過去に同種又は類似業務を受託し、適切に履行するなど 豊富な実績があり、必要な知識・知見を有し、本業務を十分に 実施できると認められるか。	13	10	15	12	10	18
	②業務スケジュールは具体的で、業務遂行可能な人員の 確保、業務に精通した担当者の配置、県と随時連絡できる 体制が確保され、確実な遂行が可能と認められるか。	16	13	16	16	14	16
3 経費	経費の配点×(提案者中の最低見積金額)/(当提案者の 見積金額)	100	95	90	100	90	90
合計		451	280	361	398	278	426